

令和7年度 第2回三田市地域日本語教育推進懇話会 次第

日時：令和8年2月17日（火）10：30～

場所：三田市役所本庁舎3階 庁議室

（オンライン併用）

1 開会

2 報告及び意見交換

（1）市教育委員会の取り組みについて（学校教育課）

資料1

（2）今年度の取り組みと来年度の予定について

資料2

3 その他

次回の予定

- ・令和8年7月3日 三田市地域日本語教育推進懇話会委員任期満了
- ・令和8年7月頃 令和8年度第1回三田市地域日本語教育推進懇話会

令和 7 年度第 2 回三田市地域日本語教育推進懇話会 学校教育課（報告）

1 日本語指導が必要な外国人児童生徒

児童生徒数：15 人（3 小学校、3 中学校） ※うち 3 名は 10 月に新渡日

国籍：ベトナム 4 人、マレーシア 4 人、ネパール 3 人、フィリピン 2 人

ロシア 1 人、パキスタン 1 人、中国 1 人

※兵庫県多文化共生サポーター配置 1 人、未配置 2 人（マレー語）

※三田市語学指導員配置：10 人、未配置 2 人（ネパール語）

2 新渡日の外国人児童生徒に対する日本語指導

国際交流協会と連携し、支援員を派遣してマンツーマンで日本語指導を実施

①今年度試行期間として、マレーシアから来日した 3 名に実施

期間：10 月 21 日（火）～11 月 14 日（金）

時間：10：00～12：00、13：00～15：00

場所：就学前は国際交流協会、就学後は在籍校の別室

②来年度から本格実施

就学前 2 週間、就学後 2 週間を目安に支援員を派遣予定

3 今年度の国際理解教育に関する取り組み

①WAIWAI 親子デイキャンプ 10 月 4 日（土）三輪小にて開催

参加者：42 人（児童生徒、保護者、教職員、地域の方など）

②国際理解教育担当者研修会 11 月 25 日（火）

・実践発表 八景中学校、三田小学校

・講演 「日本でくらす身近な外国人と国際理解教育」

藤原孝章 氏（同志社女子大学 名誉教授）

③大阪市立南小学校視察（学校教育課）

・全校児童 140 人中 90 人が外国にルーツを持った児童

※うち 50 人が日本語指導を必要としている児童（加配教員 3 名で主に指導）

・大阪市では新渡日児童生徒を対象に 2 週間日本語指導を実施（拠点校）

④三田市外国人児童生徒等教育推進委員会 2 月 20 日（金）

今年度の取組や課題を報告し、協議内容を経て次年度に向けての提言確認

市内各校における今年度の国際理解教育実践を共有

今年度の取組と来年度の予定について

1 今年度の取り組み

1. 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 間接補助事業の実施

(1) 地域日本語教育コーディネーターの配置 (市)

(2) 市町地域調整会議 (三田市地域日本語教育推進懇話会) の開催 (市)

第1回: 令和7年7月1日(火) 10:30~12:00

第2回: 令和8年2月17日(火) 10:30~

(3) 「生活者としての外国人」に対する日本語教室の実施

・日本語教師による日本語講座 (三田市国際交流協会委託)

①初級日本語教室: さんだ・くらしのほんご教室

【目標】暮らしのなかで出会う様々な場面で必要な日本語が理解できる。コミュニケーションがとれる。

【実施回数】20回(1回2時間) 通年開催、途中参加可

【対象及び受講者数】日本語初級レベル

受講者実人数 29人 (ベトナム、中国、台湾、パキスタン、フィリピン、インドネシア、ブラジル、アメリカ)

※実際の出席者は毎回6~12人

【講師】8人(うち、日本語教師8人)。ボランティアがサポート

【日時】令和7年4月19日~令和8年1月10日 土曜日 10:30~12:30

【実施場所】三田市まちづくり協働センター

【受講者募集方法】市広報多言語版、チラシ、協会HP、兵庫県国際交流協会(以下「HIA」)メールマガジン、日本語サロンで案内

【内容】自己紹介(プロフィール、私の1日、私の部屋)、私の大切な人(家族)、出かける(お茶会・市内街歩き)、安全に暮らす(災害・防災)、買い物、病院受診、食べる(好きなもの)、テレビ番組、町の情報、旅行、お金があったら

【関係機関との連携】HIA、三田市観光協会

【開始した月】4月 「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無: 有

②ニーズに応じたテーマ型講座: 子育てのほんごひろば

【目標】子育てに必要な日本語の学習と情報の提供。子育て中の人同士の交流促進

【実施回数】1回(1回2時間)

【対象及び受講者数】子育て中の外国人保護者(子連れ可能)

受講者17人(5家族(内大人9人、子ども8人)。インドネシア、台湾、中国、ベトナム、イギリス)

【講師】1人(うち、日本語教師1人)。ボランティアがサポート。

【日時】 令和7年5月25日 日曜日 10:30～12:30

【実施場所】 三田市まちづくり協働センター

【受講者募集方法】 市広報多言語版、チラシ（市内幼保・認定こども園に配布、市公共施設に設置）、協会HP、保健センター、日本語サロン、子どもにほんご教室スキップで案内

【内容】 乳幼児健診や病院受診で使う日本語、日本人を含む子育て中の親子の交流会

【関係機関との連携】 市子ども政策課（保健師）

【開始した月】 5月 「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：無

③ニーズに応じたテーマ型講座：地域の防災訓練に参加しよう

【目標】 教室で学んだ防災の知識を地域住民と一緒に防災訓練に参加を通して体験し、日本語実践の場とする。

【実施回数】 1回（1回4時間）

【対象及び受講者数】 防災に関心のある外国人

申込23人 参加者18人（当日欠席5人）、（マレーシア、中国、ネパール、台湾、パキスタン、アメリカ）日本人支援者8人、スタッフ6人

【講師】 あり

※兵庫県立広域防災センターの職員が、講師として参加者へ説明した。

※さんだ・くらしのにほんご教室で事前に学習。当日はやさしい日本語の説明を用意し、支援者がサポートした。

【日時】 令和7年12月14日 日曜日 9:00～13:00

【実施場所】 兵庫県立広域防災センター（三木市）

【受講者募集方法】 市広報多言語版、チラシ、協会HP、日本語サロン、子どもにほんご教室スキップで案内

【内容】 けむり体験、地震震度体験、水消火器体験、防災パンの配付

【関係機関との連携】 兵庫県立広域防災センター

【開始した月】 12月 「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：無

・ボランティアによる取り組み（三田市国際交流協会委託）

① 日本語サロンさんだ

【目標】 外国人市民が、日本語の学習を通じて交流を深める。

【実施回数】 開催回数（2月まで）108回（1回1時間30分～2時間）

【対象及び受講者数】 日本語を学習したい外国人

学習者：61人（最多月）（台湾、フランス、中国、韓国、パキスタン、インド、ネパール、ニュージーランド、インドネシア、オーストラリア、ベトナム、アメリカ、フィリピン、ミャンマー）

【日時】 月曜日 10:00～12:00、木曜日 18:30～20:00、土曜日 13:30～15:30

【実施場所】 三田市まちづくり協働センター

【受講者募集方法】市広報多言語版、転入者へ案内、チラシ、協会 HP で案内
【内容】マンツーマンを基本としてボランティアによる日本語学習支援を行う。
【開始月】4月
【講師】0人（うち、日本語教師0人）。ボランティアが日本語学習を支援。
「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：無

②子どもにほんご教室スキップ

【目標】外国にルーツのある子どもが、学校や生活で必要な日本語を学びながら交流を深める。

【実施回数】開催回数（2月まで）81回（1回2時間）

【対象及び受講者数】外国にルーツのある子ども

学習者：40人（最多月）（ベトナム、ネパール、パキスタン、中国、フィリピン、マレーシア、インド、ニュージーランド、台湾）

【日時】金曜日 19：00～21：00、土曜日 13：30～15：30

【実施場所】三田市まちづくり協働センター

【受講者募集方法】市広報多言語版、転入者へ案内、チラシ、協会 HP で案内

【内容】ボランティアのサポートにより日本語学習支援を行う。

【開始月】4月

【講師】0人（うち、日本語教師0人）。ボランティアが日本語学習を支援。

「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：無

(4) 日本語教育人材に対する支援講座の開催（三田市国際交流協会委託）

①日本語学習支援者向け講座：日本語支援者が知っておきたい文化の違い

【目的】日本語学習支援者に関心のある人を増やす。支援スキルのレベルアップ。

【対象】外国人への日本語学習支援、外国人とのコミュニケーションに関心のある人

【日時】令和7年8月30日 土曜日 13:30～15:30

【会場】三田市まちづくり協働センター

【内容】外国人学習者を支援するにあたり知っておきたい文化や習慣の違いを学んだ。また、最近の地域での日本語教育についての国の方向性や他地域での取り組みなども学んだ。

講師：山野上 隆史さん 公益財団法人とよなか国際交流協会事務局長

参加者 43人 スタッフ 6人

②ボランティア養成講座

【目的】日本語サロンで学習支援を行うボランティアの養成

【対象】外国人への日本語学習支援に関心のある人

【日時】

(1) 令和7年6月5日、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日 木曜日
全5回 10：30～12：30

(2) 令和8年1月17日、1月24日、1月31日、2月7日、2月14日 土曜日 全5回 13:30～15:30

【会場】 三田市まちづくり協働センター

【内容】 日本語サロンで学習支援を行うにあたって必要な内容について学ぶための講座を開催する。 講師：公益財団法人兵庫県国際交流協会登録講師

1回目開催時受講者13人、2回目開催時受講者20人

(5) 地域日本語教育に付随して実施される地元の人々との交流活動や文化理解のための取り組み（三田市国際交流協会委託）

①一般市民向けやさしい日本語講座

【目的】 「やさしい日本語」を広く周知し、多くの人に関心を持ってもらう。

【対象】 一般市民

【日時】 令和7年11月15日（土）15:10～15:40 Friendship Day in SANDAの一企画として開催

【会場】 三田市まちづくり協働センター

【内容】 「やさしい日本語で落語『サルとカメ』（フィリピン民話）」を実施。「やさしい日本語」に馴染みがない方にも気軽に参加してもらうため落語形式にした。来場者には缶バッジ「やさしいにほんご はなします」を配布して啓発。

講師：兵庫県日本語ボランティアネットワーク代表村山勇さん 参加者30人

②事業者向けやさしい日本語講座

【目的】 職場における「やさしい日本語」を周知し、外国人を雇用している事業者等に、外国人に伝わりやすい話し方を学んでもらう。

【対象】 外国人を雇用している事業者、外国人雇用に関心のある事業者、外国人と接する機会の多い事業者など

【日時】 令和8年1月9日（金）13:30～15:30

【会場】 三田市まちづくり協働センター

【内容】 「やさしい日本語」についての啓発講座の実施。参加者には缶バッジ「やさしいにほんご はなします」を配布して啓発。

講師：岩田 一成さん 聖心女子大学教授 参加者39人

2. 課題と今後の展望

(1) 課題

- ・参加しやすくするための取り組みとして、初級日本語教室（さんだ・くらしのにほんご教室）の全20回を昨年度と同様に通年募集とした。昨年度よりは学習者が増えたものの、やはり途中退会や来なくなる学習者がいた。学習継続のための工夫が必要。
- ・3月にも教室を開催してほしいとの声が多数ある。現場の実状に合わせ、学習者の立場

に立った教室運営に向け、補助金の対象となる事業期間の拡大が必要である。

- ・教室・イベントの周知の方法。
- ・企業や事業所で働く外国人と繋がりにくい。特定技能所属機関へ日本語教室や事業者向け「やさしい日本語」講座等を周知しているが、事業所からの参加が増えない。
- ・外国人の転入が増えており、日本語学習支援の必要な外国人は今後も増え続けていく。配偶者や子どもなど、家族滞在者の日本語学習支援の必要性が高まっている。また、家族滞在者の中には、就労できず社会で孤立する人がいるため、社会へつなげる働きかけや心のケアも必要になってくる。
- ・日本語サロンについて、ボランティアが不足しており、新規学習者の受け入れが難しい状況である。

(2) 今後の展望

- ・転居や仕事など理由がわかっている場合もあるが、理由がわからず来なくなった人もあり、原因を把握するようにしていきたい。
- ・初級日本語教室での学習者のレベル差が大きく、ボランティアが個々の学習者をサポートしているが、学びたいレベルや内容に寄り添った支援ができていないか、カリキュラムも含めて検証が必要。
- ・日本語教育を通じて言葉の壁をなくし、多文化共生社会の実現につながるようにしたい。

3. その他

(1) 地域日本語教育モデルの構築に向けた取組

- ・令和6年度に行った市の補助金事業の整理を踏まえ、今年度は法に基づく市の地域日本語教育事業として包括的に業務委託を行った。来年度も安定的な運営に向けて兵庫県間接補助事業を活用する予定である。

2 来年度の取り組み

1. 地域日本語教育コーディネーターの配置
2. 市町地域調整会議（三田市地域日本語教育推進懇話会）の開催
3. 「生活者としての外国人」に対する日本語教室の実施
 - (1) 「さんだ・くらしのにはんご教室」の開催 20回
 - (2) ニーズに応じたテーマ型講座の開催：子育てのにはんごひろば 1回、地域協働防災セミナー 1回
 - (3) 日本語サロンさんだ
 - (4) 子どもにはんご教室スキップ

4. 日本語教育人材に対する支援

(1) 日本語学習支援者向け講座 1回

(2) ボランティア養成講座 2回

5. 地域日本語教育に付随して実施される地域の人々との交流活動や文化理解のための取り組み

(1) やさしい日本語についての啓発講座（一般向け1回、事業者向け1回）